

**(仮称) 越木岩センター整備事業【基本構想・基本計画】(素案)**

**《概要版》**

人づくり・つながりづくり・地域づくり

～人生 100 年時代の人・まちを見据えた交流拠点～

－機能の融合と一体感を象徴する施設－

**西 宮 市**

## 概要

### [1] 建替えに至った経緯

西宮市立越木岩公民館（以降、「越木岩公民館」という。）は、自治会などの地域団体や青少年愛護協議会等の社会教育関係団体などの会議や事業、住民主体の公民館活動で定期的に利用されており、地域活動に必要な拠点施設ですが、築後 45 年が経過しており I s 値 0.24 の未耐震施設であるため、施設の安全対策や機能向上のため建替えを行うことになりました。

### [2] 建替えを実施する施設について

今回の計画では、敷地内に存在する越木岩公民館、西宮市立中央図書館越木岩分室、西宮市消防団越木岩分団車庫、3つの建物を合築することにより、土地の有効活用と施設管理の効率化を図り新たな地域の拠点施設として（仮称）越木岩センター（以降、「センター」という。）を整備します。

## 基本理念

### [1] 施設の位置づけ

センターは、公民館や図書館分室等を合築するだけでなく、各々の機能を生かし、多世代にわたる地域住民の居場所として人と人との交流やつながりを深めるとともに、生涯学習の取組みをきっかけに、地域活動への主体的な参画や地域づくりにつながる「学びと活動の好循環」を実現する仕組みを備えた施設をめざします。

### [2] 基本理念

人づくり・つながりづくり・地域づくり ～人生 100 年時代の人・まちを見据えた交流拠点～  
－ 機能の融合と一体感を象徴する施設 －

## 基本方針

### [1] 施設整備方針

- 幅広い世代が利用することができる図書館機能を最大限に活かし、人が集まりやすい施設とする。
- 共用スペースの有効活用（様々な機能を兼ねる）
- 集会室の共用（様々な活動に使用できる仕様）
- 事務室の共用（総合カウンター）
- ユニバーサルデザインの採用（障害・性別・年齢等に係わらず誰もが利用しやすい仕様）

[ 2 ]施設活用方針

センターの周辺には、相互利用や連携が図れる施設が点在します。また、越木岩公民館の敷地は、阪急電鉄苦楽園口駅から徒歩圏内にあり、苦楽園口通りと北夙川通りの交差点に面し、北側、東側、南側の三方が道路に囲まれています。近隣には、越木岩会所有の越木岩会館、大型小売店舗（消費生活協同組合）、北夙川小学校や北夙川体育館、樋之池公園、などがあり、周辺は住宅地と個性的な雰囲気のある商業地となっています。これらの施設が持つ機能を最大限に有効活用できるよう、センターを中心に、人材、資料、機材、情報等の共有を積極的に行うとともに、市民における幅広い参加や認知の向上に向け、施設間で連携した取組みと、ネットワーク化を図ることにより、持続可能でにぎわい・活気のあるまちづくりを推進します。



(現状配置図)



## 基本計画

[1] 配置計画図 (案)



[2] 2・3階平面図（案）



整備スケジュール（案）

パブリックコメント	令和3年12月下旬～令和4年2月上旬
基本構想・基本計画策定	令和4年3月
基本・実施設計等	令和4年度～令和6年度
解体・新築工事	令和6年度～令和8年度

概算事業費

総事業費 12.7億円（地質調査、基本・実施設計、解体・新築工事他）  
 ※省エネルギーのための設計・建築費などは見込んでいないため総事業費については上昇する可能性があります。